### バージョンアップガイド (Ver.7→Ver.8)

ONE Ver.7 から Ver.8 へのバージョンアップ内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。 ご了承ください。

### 目次 バージョンアップガイド ONE (Ver.7→Ver.8)

1	メイン・共	通		P.1	
				FIELD-POCKET連携対応 Window表示位置の改修	
2	現場プロッ	ット		P.3	
		2-	1	他現場データを背景表示	3
3	地番管理	1	F	2.4	
				地目登録数を増大 共有者の表記方法改修	
4	CAD F	2.5			
		4- 4- 4- 4- 4- 4- 4- 4- 4-	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文字枠内の塗潰し対応	6677891011111112

5 電子野帳取込 P.14	
5- 1 器械定数を加味しない設定追加1	.4
6 基準点測量 P.15	
6-1 器械定数を加味しない設定追加1 6-2 基準点測量記載要領の様式対応1	
7 水準測量 P.17	
7-1 基準点測量記載要領 水準測量編の様式対応1	.7
8 縦横断測量 P.19	
8- 1 J-LandXML Ver.1.6出力対応1	.9
9 3 次元計測 P.20	
9- 1 KUMIKI連携対応2	20

## メイン・共通

メイン・共通の新機能をご紹介します。

#### 1-1 FIELD-POCKET 連携対応

各アプリケーションにFIELD-POCKETのデータを入出力できる機能を追加しました。

#### **《CAD》**

- ・「ファイル] 「外部ファイル読込み] 「FIELD-POCKETデータ] コマンド追加
- ・ [ファイル] [外部ファイル書込み] [TREND-FIELD・FIELD-POCKETデータ] コマンド名称変更

#### 《電子野帳取込》

- ・ [手簿データ] タブ [データ読込み]グループ [TREND-FIELD取込み] [FIELD-POCKET取込み] コマンド追加
- ・[手簿データ] タブー [データ書込み] グループー [手簿データ分割・抽出] コマンド追加 (対回観測と単回観測の器械点が混在している場合など、《基準点測量》へ取り込む前のデータ整理に使用してください。)

#### 《GNSS単点観測》

- ・「観測・整合点検」タブー「データ読込み」グループー「FIELD-POCKET] コマンド追加
- ・ 「観測・整合点検」 タブー 「データ読込み」 グループー 【CIMPHONY Plus連携】 コマンド追加

#### 《トラバース計算》

・ [観測データ] タブー [登録] グループー [登録] コマンド機能強化 (《座標管理》とFIELD-POCKETの点番を関連付けて登録します。)

#### 《路線測量》

- ・ [路線計画] タブ [データ書込み]グループ [外部ファイル] [T-FIELD・F-TERRACE・F-POCKET路線 データ] コマンド名称変更
- ・ [路線計画] タブー [データ書込み] グループー [外部ファイル] [CIMPHONY Plus連携] コマンド追加

#### 《縦横断測量》

- ・ [縦断野帳] タブー [データ読込み] グループー [TREND-FIELD縦断観測] ー [FIELD-POCKET縦断観測]コマンド追加
- ・[横断野帳] タブー [データ読込み] グループー [TREND-FIELD横断観測] ー [FIELD-POCKET横断観測]コマンド追加

#### 《3次元計測》

- ・UAV [標定点・検証点測量計算] ステージ、 [調整点測量計算] ステージ、 [標定点測量計算] ステージの「1.観測データ取込み」でFIELD-POCKETデータ取り込み対応
- ・ [標定点・検証点配置計画] タブ、 [調整点配置計画] タブ、 [標定点配置計画] タブー [データ書込み] グループの [TREND-FIELD・FIELD-POCKET] コマンド名称変更
- ・[標定点・検証点配置計画]タブ、[調整点配置計画]タブ、[標定点配置計画]タブ-[データ書込み]グループに [CIMPHONY Plus連携]コマンド追加

### **1-2** Window 表示位置の改修

《現場管理》や《プログラム》が有効画面領域にない場合に、有効画面領域に表示するようにしました。

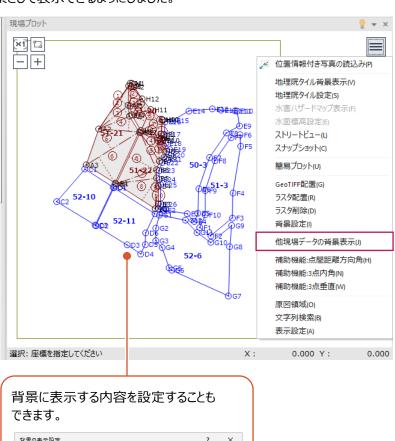
例)サブモニターにONEを表示している状態で終了し、サブモニターを無効にした場合、ONEを起動するとメインモニターに表示されます。

# 2 現場プロット

現場プロットの新機能をご紹介します。

#### 2-1 他現場データを背景表示

《座標管理》《地番管理》の現場プロットに [他現場データの背景表示] コマンドを追加し、他の現場の座標地番を背景として表示できるようにしました。



## 3 地番管理

地番管理の新機能をご紹介します。

#### 3-1 地目登録数を増大

[地目] コマンドで地目を最大250個登録できるようにしました。



### 3-2 共有者の表記方法改修

[所有者/共有者編集] コマンドに共有者の表記方法を「外〇〇名」とすることができる設定を追加しました。



## 4 CAD

CADの新機能をご紹介します。

#### 4-1 文字枠内の塗潰し対応

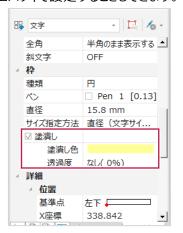
文字要素の枠内に塗潰しを設定できるようにしました。



[文字] コマンドのインプットバー [詳細] で設定できます。



プロパティで設定することもできます。



#### 4-2 マークサイズの履歴保持対応

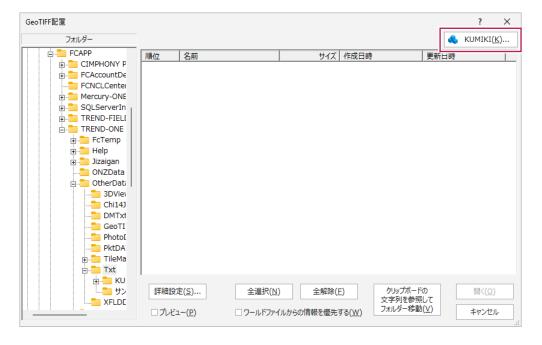
[マーク] コマンドで [サイズ] を履歴から選択できるようにしました。



#### 4-3 KUMIKI 連携対応

[GeoTIFF] – [配置] コマンドで、KUMIKI(スカイマティクス社製)の地形データからオルソ画像を取得し、GeoTIFF として配置できるようにしました。

また、現場プロットの [GeoTIFF配置] コマンドにも同じ機能を追加しました。



#### 4-4 枠外データの削除設定追加

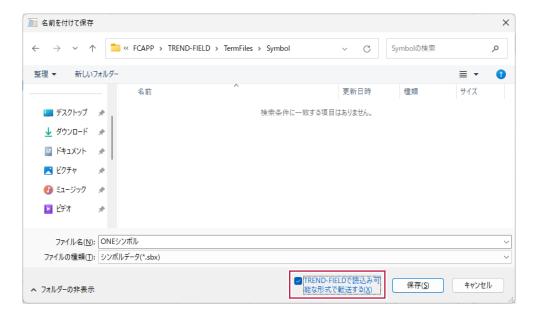
[図枠] コマンドに枠外のデータを削除するかどうかの設定を追加しました。



#### 4-5 TREND-FIELD へのシンボルの移行

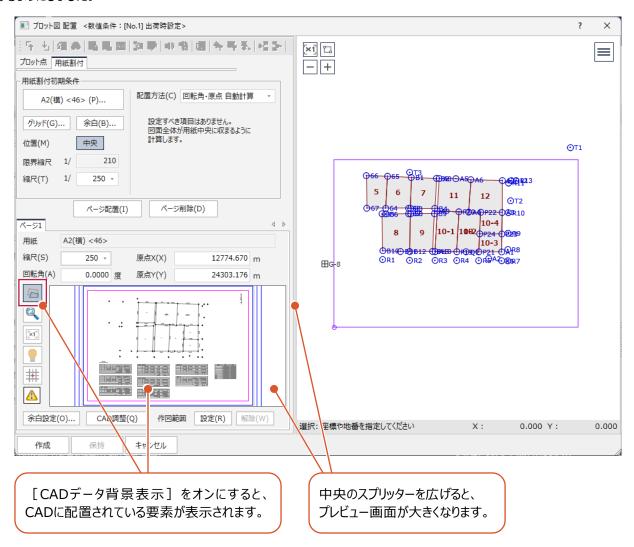
ONE Ver.3以降できなくなっていたTREND-FIELDへのシンボルの移行を可能にしました。

[シンボル] コマンドの [部分転送] [全転送] を行う際に、[TREND-FIELDで読込み可能な形式で転送する] を オンにしてTREND-FIELDのシンボル参照先フォルダー(¥FCAPP¥TREND-FIELD¥TermFiles¥Symbol¥)に 転送すると、TREND-FIELDの [シンボル] コマンド実行時にコンバートされ、ONEのシンボルを使用できるようになります。



#### 4-6 図面配置時に CAD データを背景表示

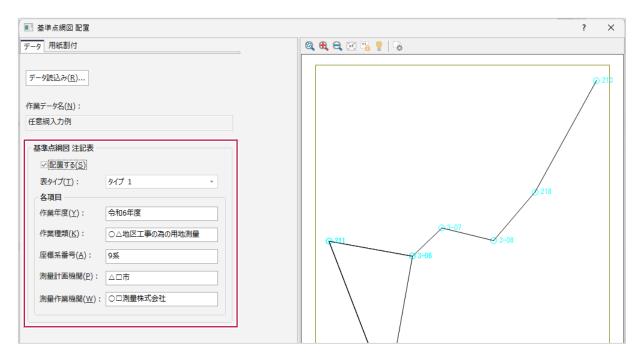
図面配置を行う際に、CADに配置されている要素を背景表示することで、配置位置を指定しやすくしました。 また、プレビュー画面を確認しやすくするため、ダイアログサイズを大きくして中央のスプリッターを広げることでプレビュー画面が大きくなるようにしました。



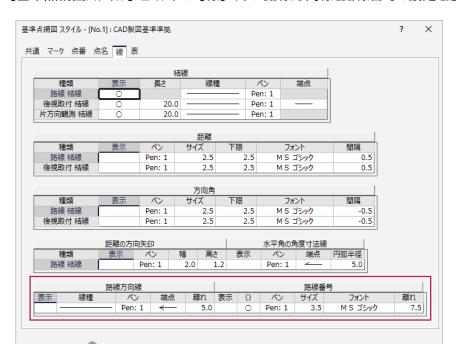
#### 4-7 基準点測量記載要領の様式対応

基準点測量記載要領(令和3年度版)に則った図面を作成しやすくなるよう、注記表や路線方向線を配置できるように しました。

・ [基準点網図配置] コマンドに注記表を配置する設定を追加



・ [基準点網図スタイル] コマンドの [線] タブに路線方向線と路線番号の設定を追加

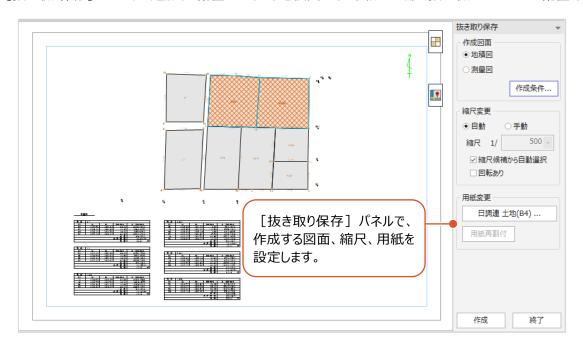


・ [路線閉合差表] コマンドのインプットバーに [角閉合差を配置する] チェックボックスを追加



#### 4-8 抜き取り保存機能追加

[抜き取り保存] コマンドを追加し、配置されている地積図・測量図から一部を抜き取り、別ページに配置できるようにしました。



### 4-9 選択候補を表示

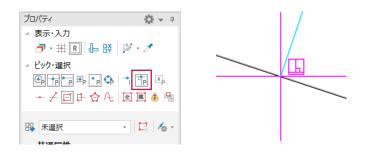
重なっている要素を選択候補一覧から選択できるようにしました。

プロパティの [選択候補を表示] をオンにして、要素が重なっている箇所をクリックすると、要素選択ダイアログが表示され、一覧から要素を選択できます。



### 4-10 ピックモードに垂線ピック追加

ピックモードに「垂線」を追加し、手軽に指定した要素の垂線の足の位置をピックできるようにしました。



#### 4-11 ピックイメージを文字で表示

[設定] タブー [モード] グループー [ピックモード] に [ピックイメージの文字表示] 設定を追加し、ピックした際に表示されるイメージを文字表示できるようにしました。

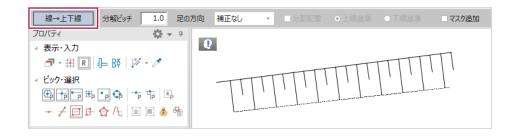


(元となった要素は削除されます。)

#### 4-12 配置済み要素から上下線を作成

DM属性編集時、配置済みの線や円弧から上下線を作成できるようにしました。

[DM入力モード]コマンドの [編集] タブで [編集可能な要素] に [上下線] が含まれるDM属性を選択した場合、インプットバーで [線→上下線] をオンにして上線と下線を指定すると、DM属性の上下線を入力できます。



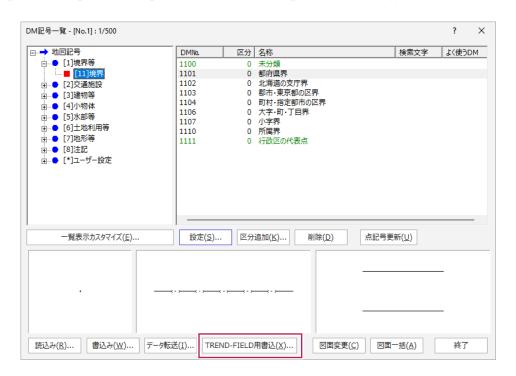
### 4-13 《座標管理》との連携対応

[数値地形] タブー [DM基本] グループー [観測データ一覧] – [現況観測データ] コマンドに、《座標管理》の座標と 観測データの関連付けを行える機能を追加しました。



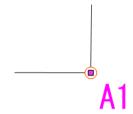
#### 4-14 TREND-FIELD への DM マスターの移行

ONE Ver.3以降できなくなっていたTREND-FIELDへのDMマスターの移行を可能にしました。
[DMマスター] コマンドの [TREND-FIELD用書込] ボタンでデータを保存してください。



### 4-15 プロットマーク選択時に関連文字をハイライト表示

プロットマークを選択した際に、関連する文字をハイライト表示するようにしました。



## 5 電子野帳取込

電子野帳取込の新機能をご紹介します。

### 5-1 器械定数を加味しない設定追加

手簿計算を行う際に器械定数を加味するかどうかの設定を追加しました。

・[計算条件設定] コマンドに [距離に器械定数を加味する] チェックボックスを追加(初期値オン)



# 6 基準点測量

基準点測量の新機能をご紹介します。

#### 6-1 器械定数を加味しない設定追加

手簿計算を行う際に器械定数を加味するかどうかの設定を追加しました。

・ [現場情報] コマンドに [距離に器械定数を加味する] チェックボックスを追加



### 6-2 基準点測量記載要領の様式対応

基準点測量記載要領(令和3年度版)に則って計算書を作成できるようにしました。

・ [計算書作成] コマンドの [基準点測量] タブにフッターの項目を追加し、入力した内容を出力できるようにしました。



## 7 水準測量

水準測量の新機能をご紹介します。

#### 7-1 基準点測量記載要領 水準測量編の様式対応

基準点測量記載要領 水準測量編(令和5年度版)に則って計算書を作成できるようにしました。

・ [計算書作成] コマンドの [成果表] タブにフッターの項目を追加し、入力した内容を出力できるようにしました。



・ [成果] ステージに [楕円補正] の項目を追加し、計算書(観測成果表)に出力できるようにました。 ( [路線] ステージで [設定] グループー [初期設定] の [正規正標高補正(楕円補正)] が [行う] になっていて 計算結果がある場合、 [成果] ステージの [データ読込み] グループー [網平均路線] で路線データを読み込むと値が 表示されます。)



・[路線] ステージー [現場情報] コマンドに [主要機器名称及び番号] と [永久標識種別等] の項目を追加し、 計算書(精度管理表)に出力できるようにしました。



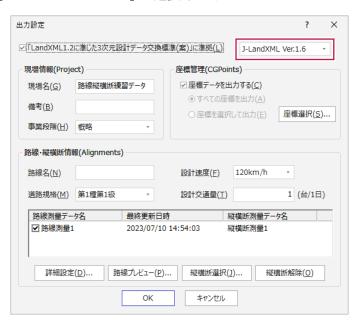
## 8 縦横断測量

縦横断測量の新機能をご紹介します。

#### 8-1 J-LandXML Ver.1.6 出力対応

J-LandXML Ver.1.6の出力に対応しました。

[横断計画] ステージー [3Dモデル作成] コマンドの [データ書込み] – [LandXML] の出力バージョンで [J-LandXML Ver.1.6] を選択できます。



## 9 3次元計測

3次元計測の新機能をご紹介します。

#### 9-1 KUMIKI 連携対応

[撮影コース精度管理] ステージと [形状復元精度管理] ステージの [データ読込み] グループに [KUMIKI] コマンドを追加し、KUMIKI (スカイマティクス社製) から撮影コース情報やGCP情報をダウンロードして読み込めるようにしました。

